

全体講演



演題 解に挑む ～数学の解，社会人としての解～

講師 玉川 浩一郎氏（セイカ食品株式会社 代表取締役社長）

プロフィール

1989年 大阪大学基礎工学部合成化学科 卒業
1989年 伊藤忠商事株式会社 入社（繊維資材貿易部）
1992年 伊藤忠商事株式会社 ソウル支店
1994年 伊藤忠商事株式会社 退職
1994年 セイカ食品株式会社 入社
2007年 セイカ食品株式会社 代表取締役社長

会社概要

セイカ食品株式会社は、菓子問屋として1903年の創業。

現在は、菓子・アイスクリーム・冷凍食品の製造・卸売業を軸に、スポーツ事業、パン製造業、介護事業等をグループ内に擁している。事業エリアも、南九州を中心としながら、着実に活動地域を拡大している。

2019年に、創業116年、株式会社設立100年の節目を迎えた。

部会講演

小学校部会



演題 主体的・対話的で深い学びを実現する算数科授業

講師 小山 正孝氏（広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

プロフィール

1986年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期教科教育学専攻中途退学
1986年 兵庫教育大学学校教育学部助手
1991年 広島大学教育学部講師，1995年 広島大学教育学部助教授
2007年 広島大学大学院教育学研究科教授 博士（教育学）
2016年 広島大学大学院教育学研究科長・教育学部長併任（4年間）
2020年 広島大学大学院人間社会科学研究科教授

主要業績

小山正孝（2010）.『算数教育における数学的理解の過程モデルの研究』. 聖文新社.

小山正孝（2021）.「研究としての授業研究の論文化：何のために、何を大切に、どのように？」. 日本数学教育学会編、『算数・数学授業研究ハンドブック』（pp.246-255）. 東洋館出版社.

小山正孝（2022）.「算数科における『数学的な見方・考え方』の学びの文脈—第四学年『関数の考え』の意識化をめぐる—」. 広島大学附属小学校学校教育研究会『学校教育』, 第1256号, pp.38-43.

中学校部会



演題 具体的教育課題から「数学的な見方・考え方を働かせる」を考える

講師 山田 篤史氏（愛知教育大学教授）

プロフィール

1992年 広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了
1992年 私立英国暁星国際学園教諭
1994年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期（1995年 中途退学）
1995年 兵庫教育大学学校教育学部助手
1999年 愛知教育大学助手
2002年 愛知教育大学助教授
2013年 愛知教育大学教授

主要業績

中原忠男・山田篤史・清水紀宏・山口武志・影山和也・小山正孝・飯田慎司・植田敦三（2011）.「潜在的な数学的能力の測定用具の活用化に向けた開発的研究（Ⅴ）—思考力に対する潜在力指導の効果の検討—」. 全国数学教育学会『数学教育学研究』, 第17巻, 第2号, pp.65-74.

清水紀宏・山田篤史（2015）.「算数・数学の授業におけるインフォーマルな表現を捉える枠組み」. 全国数学教育学会『数学教育学研究』, 第21巻, 第2号, pp.89-102.

山田篤史（2021）.「比・比例・割合の概念形成の一環としてのプリフォーマルな表現の理解を支える諸活動」. 愛知教育大学数学教育学会誌『イブシロン』, 第62巻, pp.43-52.

高等学校部会



演題 数学的に考えるレジリエントな資質・能力を育成する質の高い数学教育

講師 吉村 直道氏（愛媛大学教育学部教授）

プロフィール

1995年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期中退
1995年 広島県安芸郡熊野町立熊野中学校常勤講師
1996年 高松第一高等学校教諭
2001年 広島大学附属中学校・高等学校教諭
2007年 愛媛大学教育学部講師，准教授（2010年～）
2017年 愛媛大学教育学部教授
2020年 愛媛大学附属高等学校副校長，学校長（2022年～）

主要業績

吉村直道（2014）.「数学教育における授業実践」. 小山正孝編著，『教師教育講座第14巻 中等数学教育』（pp.100-113）. 協同出版.

吉村直道・山口武志・中原忠男・小山正孝・岡崎正和・加藤久恵・前田一誠・宮崎理恵（2015）.「算数・数学教育における創発の捉え方に関する解釈的研究：創発を生み出す授業の活性化を目指して」. 日本教科教育学会『日本教科教育学会誌』, 第38巻, 第2号, pp.47-56.

吉村直道・富永剛志・宇都宮憲二・山本泰久（2022）.「中学校数学科の学習において一次関数とみなして問題解決する学習のあり方についての研究」.『愛媛大学教育学部附属科学教育研究センター紀要』, 第1巻, pp.50-59.